



## 平成28年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 インスペック株式会社

コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成27年12月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年4月期第2四半期の連結業績(平成27年5月1日～平成27年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第2四半期	505	—	△197	—	△209	—	△187	—
27年4月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年4月期第2四半期 △208百万円 (—%) 27年4月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第2四半期	△72.24	—
27年4月期第2四半期	—	—

(注) 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成27年4月期第2四半期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。  
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年4月期第2四半期	1,913	—	619	—	24.2	177.90
27年4月期	2,048	—	694	—	28.3	222.55

(参考) 自己資本 28年4月期第2四半期 462百万円 27年4月期 578百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年4月期	—	0.00	—	—	—
28年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	—	210	—	170	—	100	—	38.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年4月期2Q	2,601,300 株	27年4月期	2,601,300 株
② 期末自己株式数	28年4月期2Q	— 株	27年4月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年4月期2Q	2,601,300 株	27年4月期2Q	2,601,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年5月1日～平成27年10月31日）におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の減速の影響を受けたものの、企業業績や雇用環境の改善、日経平均株価指数の緩やかな回復など、回復基調が持ち直しつつあります。一方、海外においては、米国では消費や設備投資の増加により景気は拡大基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国では景気の下振れが懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は505百万円、営業損失は197百万円、経常損失は209百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は187百万円となりました。

なお、当社は前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第2四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますA V I（自動最終外観検査装置）及びA O I（プリント基板のパターン検査装置）の引合いや受注は引き続き堅調に推移しておりますが、現受注案件の多くが第3四半期以降に納入されることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は261百万円となり、セグメント損失は132百万円となりました。

#### ②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第2四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソター（基板のフィルム原版を印刷する装置）が売上を牽引しているものの、現受注案件の多くが第3四半期以降に納入されることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は232百万円となり、セグメント損失は63百万円となりました。

#### ③デジタルパソロジー関連機器事業（テラ株式会社）

当第2四半期連結累計期間におきましては、バーチャルスライドシステムの販路拡充に努めており、受注活動に注力しましたが、売上水準は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は11百万円となり、セグメント損失は5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度に比べ135百万円減少し、1,913百万円となりました。これは主に、現金及び預金122百万円の増加、受取手形及び売掛金445百万円の減少、仕掛品109百万円の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、1,293百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金50百万円の増加、長期借入金125百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、619百万円となりました。これは主に、資本剰余金73百万円の計上、親会社株主に帰属する四半期純損失187百万円の計上によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ122百万円増加し、410百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は141百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額446百万円、たな卸資産の増加額123百万円及び税金等調整前四半期純損失209百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は58百万円となりました。これは主に、短期貸付けによる支出38百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は39百万円となりました。これは主に、新株の発行による収入129百万円及び長期借入金の返済89百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期の第2四半期（累計）の業績につきましては、平成27年6月12日に公表しました予想を下回りました。詳細につきましては、本日（平成27年12月11日）公表の「平成28年4月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成28年4月期通期の業績予想につきましては、連結・個別とも変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があるため、修正等が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後に実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結の範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は73,791千円増加しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が73,791千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	287,594	410,163
受取手形及び売掛金	642,053	196,578
商品及び製品	50,516	73,429
仕掛品	200,769	309,839
原材料及び貯蔵品	84,350	75,354
その他	78,563	154,103
貸倒引当金	△13,598	△9,456
流動資産合計	1,330,249	1,210,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	192,249	186,748
機械装置及び運搬具（純額）	38,691	27,401
土地	20,350	20,350
建設仮勘定	13,777	24,838
その他（純額）	6,811	17,444
有形固定資産合計	271,879	276,782
無形固定資産		
のれん	409,689	386,670
その他	20,741	22,384
無形固定資産合計	430,430	409,055
投資その他の資産	16,132	17,322
固定資産合計	718,443	703,160
資産合計	2,048,693	1,913,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	107,718	157,837
1年内返済予定の長期借入金	256,638	292,661
未払法人税等	5,432	1,450
製品保証引当金	40,748	29,197
その他	127,827	113,747
流動負債合計	538,364	594,894
固定負債		
長期借入金	795,026	669,852
繰延税金負債	20,044	19,708
資産除去債務	300	301
その他	—	8,916
固定負債合計	815,371	698,778
負債合計	1,353,736	1,293,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	485,400	485,400
資本剰余金	—	73,791
利益剰余金	93,506	△94,410
株主資本合計	578,906	464,781
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△2,013
その他の包括利益累計額合計	—	△2,013
新株予約権	22,531	25,884
非支配株主持分	93,518	130,848
純資産合計	694,957	619,500
負債純資産合計	2,048,693	1,913,173

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日）
売上高	505,313
売上原価	310,625
売上総利益	194,688
販売費及び一般管理費	392,234
営業損失（△）	△197,546
営業外収益	
受取利息	599
為替差益	760
貸倒引当金戻入額	4,242
その他	679
営業外収益合計	6,281
営業外費用	
支払利息	15,837
その他	2,542
営業外費用合計	18,380
経常損失（△）	△209,644
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失（△）	△209,644
法人税、住民税及び事業税	△2,560
法人税等調整額	△335
法人税等合計	△2,896
四半期純損失（△）	△206,748
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△18,831
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△187,916

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

		当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日）
四半期純損失（△）		△206,748
その他の包括利益		
為替換算調整勘定		△2,060
その他の包括利益合計		△2,060
四半期包括利益		△208,808
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		△189,930
非支配株主に係る四半期包括利益		△18,878



（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失（△）	△209,644
減価償却費	23,728
株式報酬費用	3,352
のれん償却額	21,054
受取利息及び受取配当金	△599
支払利息	15,837
売上債権の増減額（△は増加）	446,461
たな卸資産の増減額（△は増加）	△123,935
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△11,388
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,242
仕入債務の増減額（△は減少）	49,941
未払金の増減額（△は減少）	△41,758
その他	△6,641
小計	162,165
利息及び配当金の受取額	17
利息の支払額	△15,351
法人税等の支払額	△5,251
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>141,579</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△14,158
無形固定資産の取得による支出	△4,769
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△38,000
その他	△1,535
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△58,463</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	129,360
長期借入金の返済による支出	△89,151
その他	△1,036
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>39,172</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	281
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	122,569
現金及び現金同等物の期首残高	287,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	410,163

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。この結果、資本剰余金が73,791千円増加しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	半導体パッ ケージ基板・精 密基板検査装 置関連事業	精密基板製造 装置関連事業	デジタルパソ ロジー関連機 器事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	261,658	232,508	11,147	505,313	—	505,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	261,658	232,508	11,147	505,313	—	505,313
セグメント損失（△）	△132,185	△63,604	△5,611	△201,402	3,856	△197,546

（注） 1. セグメント損失（△）の調整額3,856千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。